

「胸膜悪性中皮腫における好中球リンパ球比(NLR)のバイオマーカーとしての有用性の検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2024年 11月 26日 ~ 2025年 12月 31日

〔研究課題〕

胸膜悪性中皮腫における好中球リンパ球比(Neutrophil-to-lymphocyte ratio : NLR)のバイオマーカーとしての有用性の検討した後方視的研究

〔研究目的〕

胸膜悪性中皮腫において好中球リンパ球比(NLR)が臨床的に有用な指標であるか明らかにします。

〔研究意義〕

好中球リンパ球比(NLR)の有用性を明らかにすることで、今後の胸膜悪性中皮腫治療の一助とします。

〔対象・研究方法〕

2008年1月から2023年4月にかけて当院で抗がん剤治療を行った進展型小細胞肺癌患者様が対象です。調査項目は年齢、性別、Performance status、化学療法の内容、血液検査(好中球、リンパ球数)、生存期間および治療成功期間です。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究に携わる関係者は研究対象者の個人情報を厳格に保護します。対象者より情報の使用拒否の申し出があった場合はその情報は用いず破棄します。対照表は用いず診療(カルテ)番号管理とすることで、抽出したデータのみを取り扱うことで個人の特定ができないようにします。お亡くなりになった方の情報についても同様に取り扱い対象者が特定できないよう十分に配慮します。対照表を作成しないため、データ抽出後は情報を削除できません。情報はUSB上で金庫の中で管理し、情報漏洩がないよう対応いたします。また、研究終了後はデータは廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 関 順彦 職名 教授
研究分担者:氏名 風張 広樹 職名 大学院生
所属: 帝京大学医学部内科学講座 帝京大学大学院 医学研究科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線:16590]